１　府立高等学校再編整備計画に基づく学びの多様化学校設置（案）

（１）設置に向けた方向性

　　　全国的に不登校生徒数が増加を続けるなか、府としても早急な対応が必要である。以下の基本的な考え方のもと、学校カリキュラムや支援体制の検討を行い、学びの多様化学校の特例の教育課程を文部科学省との協議によって決定する。

（２）設置年度と受入れ方針

令和８年度に開校し、当面の間は府立高校からの転学の受入れのみ行う。受入れ生徒の決定方法等については、引き続き検討し、決定後公表する。

（３）基本的な考え方

① スクールミッション

〇不登校を経験した生徒に、社会性や自己効力感を育み、「精神的」「経済的」に自立で

きる力や自信を育成する

〇不登校対応ノウハウを蓄積し、府立高校全体の不登校生徒支援に関するセンター的な

役割を担う

　　② グラデュエーションポリシー

〇生徒が自らの可能性と将来を前向きに考え、希望する進路を実現する

〇心身の健康状態に気づき、持続的に健康を維持できる力を育成する

〇興味のあることを見つけ「自ら学ぶ力」を育成する

〇自立した社会生活を送るための基本的な社会スキルやコミュニケーション能力を育成する

　　③ カリキュラムポリシー

〇学校外の学習や、自己学習、自己肯定感、自己有用感を高める取組みを柔軟に卒業要件の単位として認めていくカリキュラムとする

〇興味・関心にあった学び、体験的な学び、自分のキャリアを考える学びを卒業要件の単位としていく

〇自分の体調等に応じて柔軟に学びのペースを変化させられる時間割とする

１-２